

卒業制作
(インсталレーション)

タイムマシンの研究所

長嶋ゼミ
1524114 山本萌寧

《コンセプト》

「止まっているのに動いて見える」
光と音の演出によって、空間にストーリーの流れを感じられる作品にする。

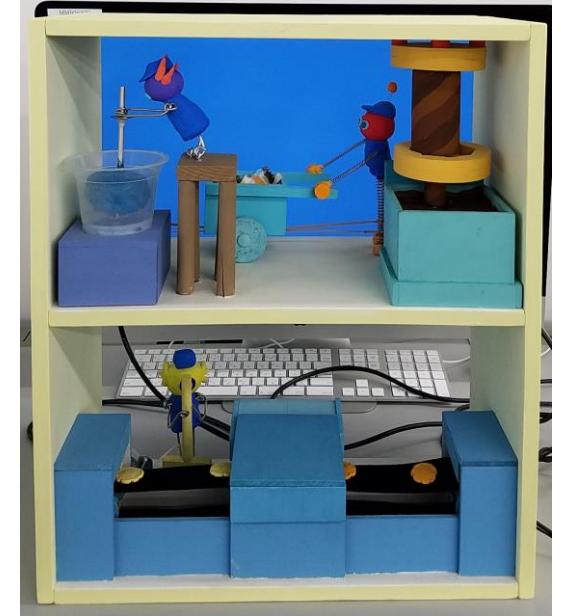
《制作の背景》

〈総合演習1〉
動くものを製作。ぎこちなさがある。

〈総合演習2〉
音が鳴り光るものを試作。音や光で印象が異なる。



あえて動かさず光と音で、生き生きとした様子を表現できたら面白いのではないか。



《キャラクターの制作》

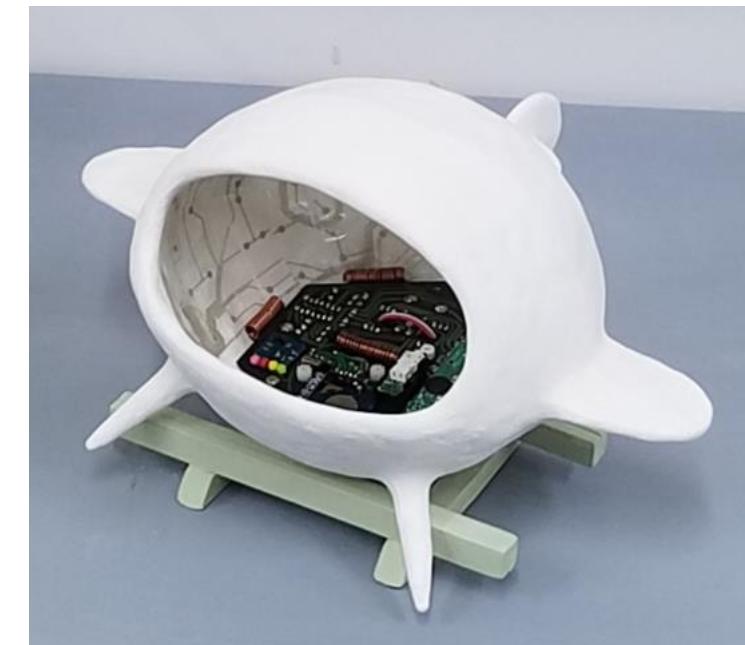
- ・針金と布を軸に石粉粘土で制作
- ・光の影響を受けやすいよう、明度の高い色で着色
- ・目はボンドで光沢を出し、表情を持たせる



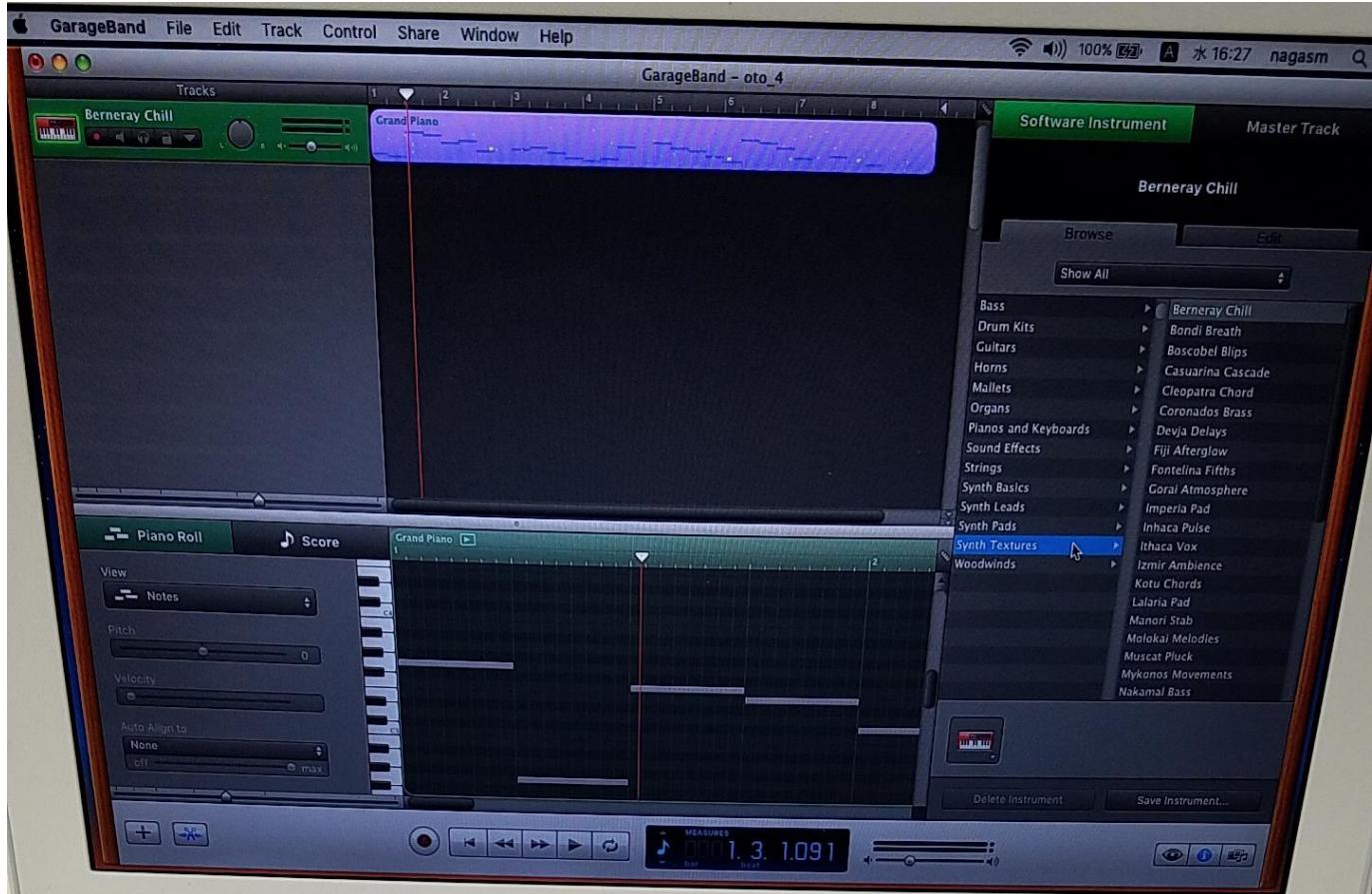
《タイムマシンの制作》



- ・風船を基に針金で軸を制作
↓
- ・半紙で原型を制作
↓
- ・はりこに石粉粘土で形付けをする



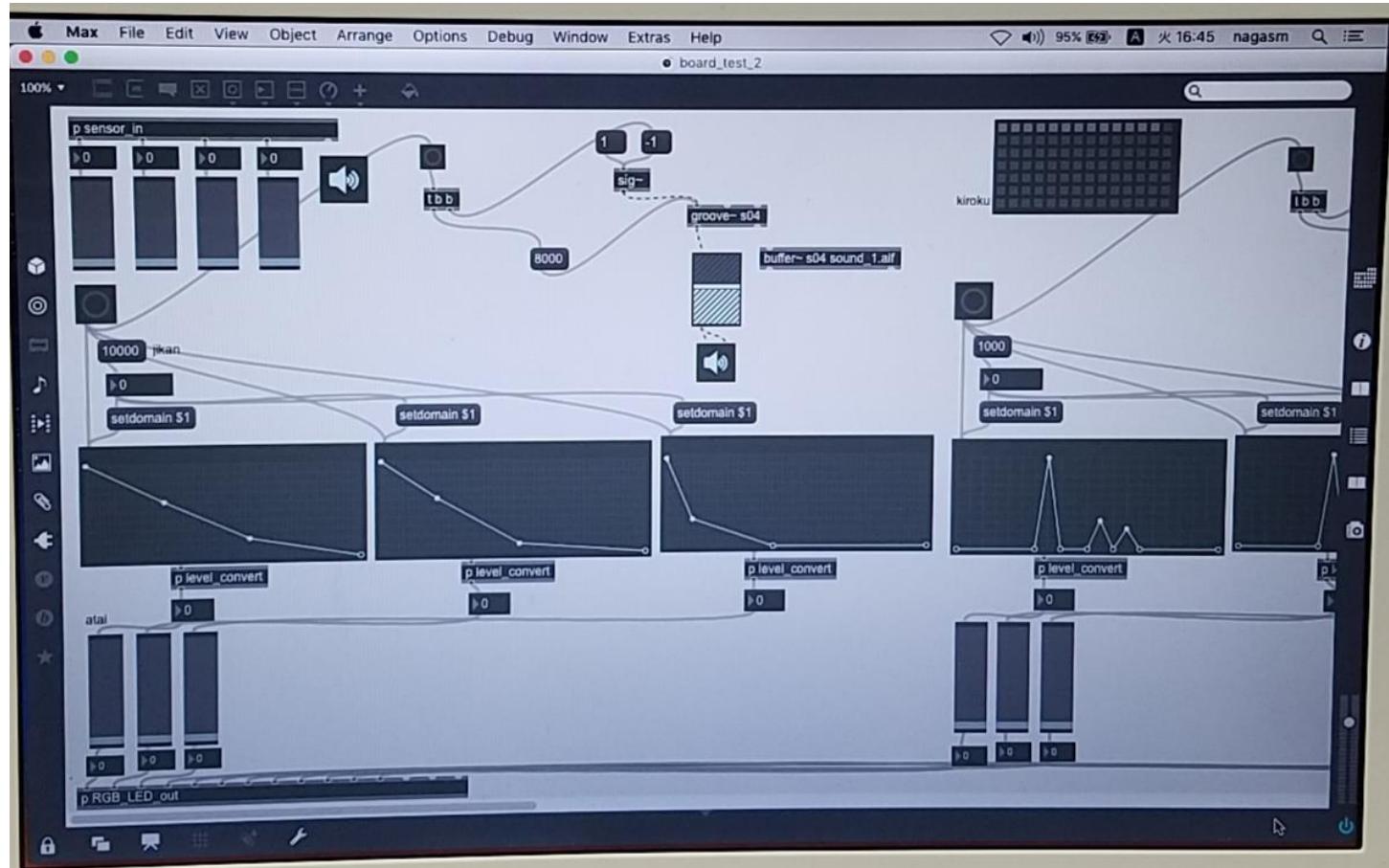
《音の制作》



- ・「Garage Band」を使用
- ・カーテンレールの音、チャック開閉音、水筒に水を注ぐ音 等を録音し、それらの素材を組み合わせて制作

※設計士の効果音の著作権に関して※
既存の楽曲の主旋律ですが、
ピアノロールに手動で打ち込んだものを
使用しています。
営利を目的とした作品ではありません。
展示ではオリジナルの音に差し替えます。

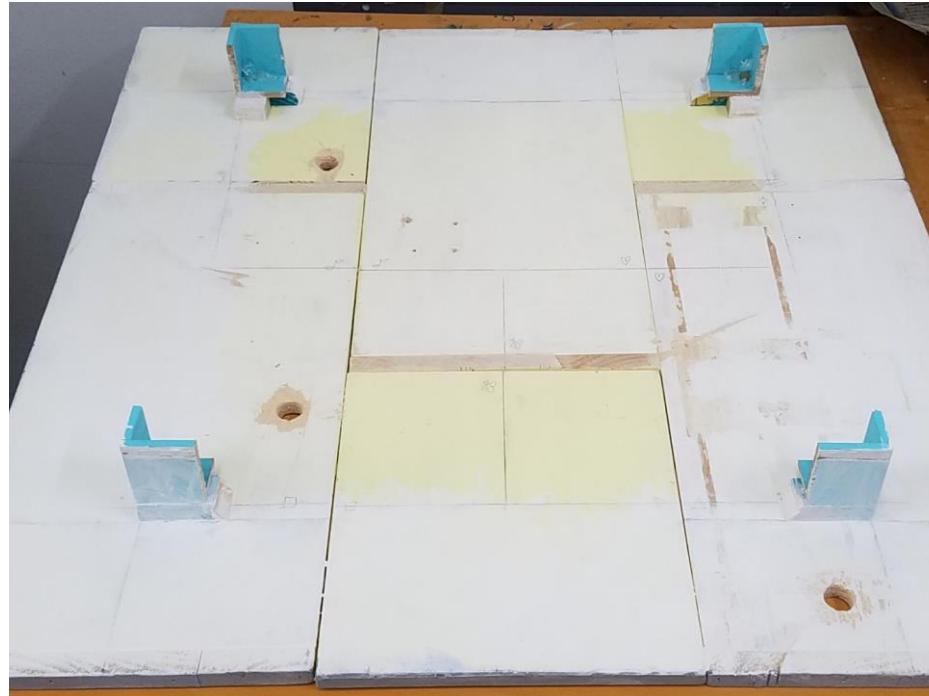
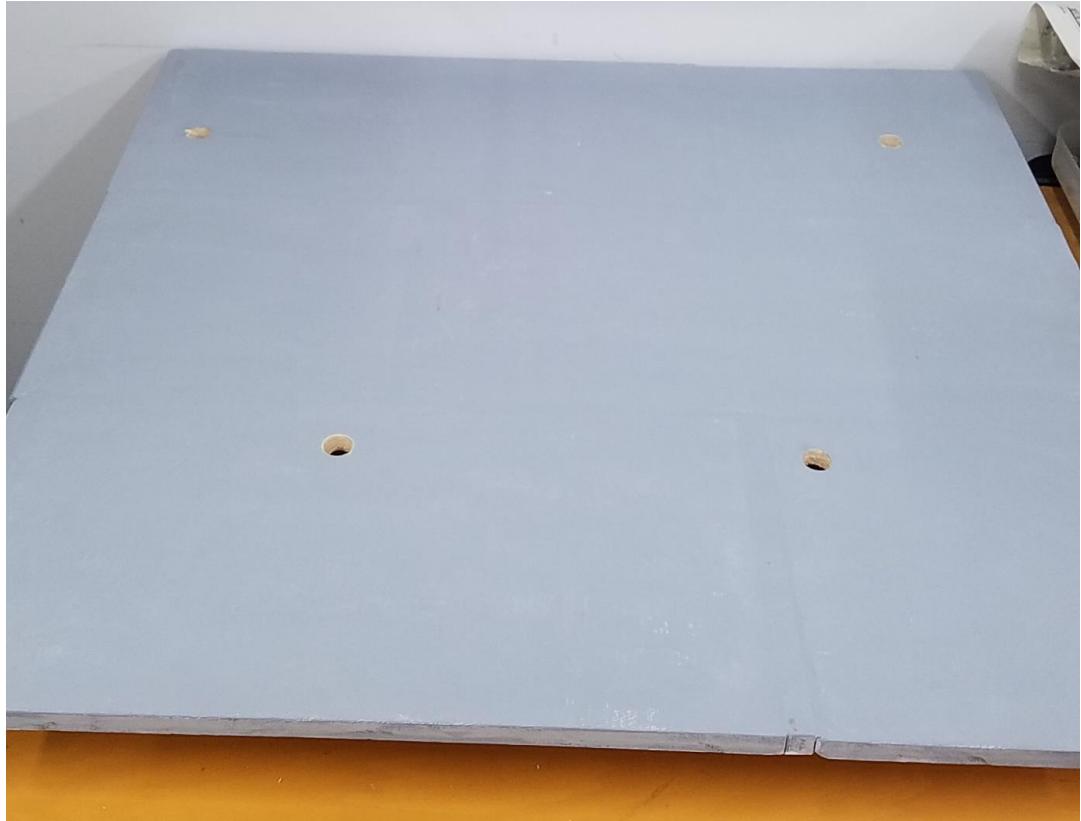
《光の制作》



- ・「Max」でMIDI信号を出力
- ・MIDIで多数のLEDを制御するシステムに接続
- ・RGBの値を時間経過とともにそれぞれ変化させ、光の色や強さを調整する



《台の制作》



- ・総合演習1で制作したお菓子工場を解体して制作
- ・機材を台の下にしまえるように脚を付ける

《小物の制作》



- ・主な材料

スチレンボード、石粉粘土、アクリルガッシュ等

- ・反射、透過、拡散等による光の見え方の違いを表現できる素材を使って制作



